

活動紹介：妊娠・出産だけでなく女性の一生を支援します

森ノ宮医療大学、(前) 大阪労災病院
母性看護専門看護師 三宅 知里 (みやけ ちさと)

私は母性看護専門看護師として、妊婦さんや赤ちゃんだけでなく、婦人科に受診される女性の相談にのっています。女性の方が婦人科の病気になり手術を含めた治療をすることになると、「今後、妊娠できるかな?」「ホルモンバランスはどうなるのかな?」と心配になります。産婦人科医師は治療方針についてガイドラインなどを根拠に詳しく説明しますが、最終的に決めるのは女性自身です。そして、治療を決定するのは簡単なことではありません。



患者さんの人生設計や希望を考慮し、医師と今後の治療を相談しています

私は、医師の病状・治療方針説明に同席し、その後にお話をする機会を持ち、これから的人生設計や希望と、疾患の治療、二つが両立できるように支援しております。

また、学校で命の授業を行い、子宮頸がんワクチンの紹介もしています。子宮頸がんワクチンは日本では接種率は低いのが現状です。子宮頸がんになる女性を少しでも減らすために、子宮頸がんワクチンのがんの授業に取り組んでいます。

このように、母性看護専門看護師は妊娠中だけでなく女性の生涯にわたって健康を支援しております。

[**< CNS のダイレクトケア・教育機能 >**](#)

